

月刊 かわごえ環境ネット

2012年2月号 No.064

<http://kawagoekankyo.net>



2012年2月2日発行

編集・発行：かわごえ環境ネット

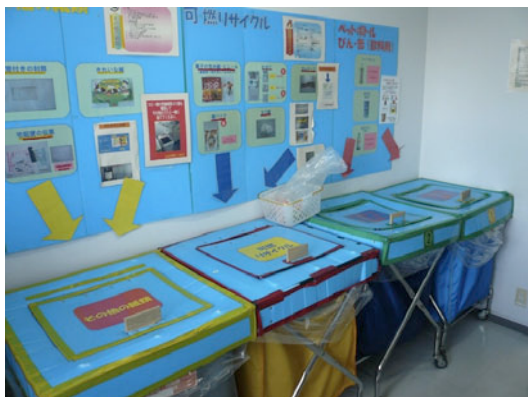
<http://kawagoekankyo.net>

Twitter: @kawagoekankyo

目次

地域環境活動を聴く (41) 根本利勝さん	2
かわごえ環境ネットの活動報告 (2件)	3
会員からの報告 (3題)	4-5
近隣市町・流域の話題 (3題)	5-6
理事会・専門委員会からの報告 (5題)	6-7
おしらせ	8-11
イベントカレンダー	12

【巻頭言】廃棄物の「リサイクル活動」「素材に戻す活動」



職場での分別

廃棄物のリサイクル 100%、ゼロエミッション達成など「不可能」に思われた言葉も、ここ数年どこからでも聞く言葉になっています。しかし、「素材に戻す視点」でのリサイクルにはまだまだ開拓の余地があります。

弊社でもこの「素材に戻す」事に着目し、この2年間様々な取組みを実施してきました。素材に戻すには専門業者さんにお話し「そこに価値」があるものでなければうまくいきません。これを行うためには「徹底した分別」が必要になります。分別後の廃棄物を「有価物」「無償引取り」として専門業者に引きとってもらい素材に戻し、いかにサーマルリサイクルになる分を減らすかが活動のポイントになります。

事業所全体の取組みとして、6月は「環境月間」であり、この月間を利用し活動の定着化を図ってきました。一例として「分別表示方法のコンテスト」、「ゴミ袋の番地制の導入(袋に番地を記入する)」「分別間違いベスト10を学ぶeラーニングの実施」などを行ってきました。これらの取組みにより分別の意識が大幅に向上し、結果として廃棄物処理費と有価物売却額が逆転し廃棄物処理収支が黒字になりました。本来「素材に戻す」視点で活動してきたことが、収支の黒字化に結び付き企業の担当者としては一石二鳥の結果です。今後も「素材に戻す」を合言葉に環境活動に取組みたいと思います。

かわごえ環境ネット理事 石川一男 (パイオニア株式会社)

根本利勝さん

「コンクリートは嫌いだよ、草木の緑が好きですね。」
電話で個人会員訪問をお伺いした時、根本さんの言葉に何とかお会いしたいと感じました。「根本さんは、どちらにお住まいですか、」「石原の1丁目だよ」「それでは、伊勢原公民館で会いましょう。」私は、伊勢原1丁目と聞かえていました。「伊勢原の公園はランニングで良く走っている。だけれど公民館は知らないよ。」場所確認のややトンチンカンな会話になっていました。石原町と伊勢原町は、良く似た発音。入間川を挟んで5キロ離れている。訪問する方の近くに向うのが私の取材。遠方にお呼びしてしまいました。

伊勢原公民館のロビーでお会いした根本さんは、朴訥さが表れた長身のすらりとした体形。毎日ランニングをしているとの話から始まりました。「環境活動なんて聞かれると困ってしまう。特に何かをしているとは思っていない。」
「そうですか、根本さんは、環境ネットに入られたのはいつごろですか、」「私は、知人に誘われ設立された最初からの会員になっています。」



根本さんは小江戸川越マラソンで、紙コップ拾いを語りました
会社勤めは、当団地下鉄で車両点検を受け持っていた。
「当団駅伝大会があって、職場仲間に出ていました。」「走ると緑と街並みの四季の移り変わりが見られ、ストレス解消になった。」「ローカルな駅伝にも参加しています。」「川越の今福で開催されている、元旦マラソンに参加しています。」小江戸川越マラソンには、参加していますかとお聞きすると「いや・・・まだ参加はしていませんが、沿道に出て声援を送っています。」「今年の小江戸川越マラソンは、保健センターの給水地点で応援していました。」「ランナーが飲んだ後に捨てた紙コップが、沢山道路に散らかっていたので拾い集めました。」思わず私は、それって環境活動になっていますね。「散らかっていて見ていられなかった。」散らかっているものを見て思わず手を出して拾い片づける。道路清掃の活動になっている。本人は、さほどと思

個人会員訪問 地域環境活動を聴く (41)

ていないようでしたが、この小さな行動は、気持ちがなけば行わないと感じました。

「そうでしたか・・・ところで、環境ネットの広報はお読みになっていますか。」「軽く目を通していますが、みんな良くやっているね。」「熱心さが分ります。私なんか近づけないよ。」「勤めている時は、退職したら何か出来るかなと思っていました。」「だけれども退職したら、地域の方に頼まれて、年行事の手伝をするようになってしまい、環境ネットの会には出ていない。」どんな年行事なのですか。
「近くの八坂神社の世話人代表をやっています。」「私の住まいは、石原町1丁目ですが、古い町名は袋町です。」「家数の少ない旧袋町の人が氏子として、節分祭、御稻荷祭講（おいなりこう）、天王様の三つの地域行事を続けている。」
「寄合いでの話が始まり、地域の古老から手順を聴き、間違えないように年行事を済ませている。」「ごみゼロの日には神社の草取り、神社にある樹の伸びすぎた枝を切ったりしています。」



地域環境活動で清掃している八坂神社

それは、地域の環境活動ですね。と返し言葉とともに、懐かしい町名が出てきたので、思わず身を乗り出しました。
「私の生まれは高沢町（元町二丁目）。」「子どもの頃、赤間川（新河岸川）で川遊びをしていました。」「泳ぎには、入間川の小ヶ谷まで、八坂神社の横を歩いていました。」聴き役が懐かしさに負けて、自分話になっていました。八坂神社には、江戸時代の寛保2年に赤間川が氾濫して、神社が流されたが再建出来た絵巻がありましたね。とお聞きすると「よく知っていますね、中央図書館に収蔵されています。」「今は、本殿に模写絵を収めてあります。」「何とか神社由来の説明板を立てたいと願っています。」個人会員は、生活をしている地域を大切にしている、環境活動が聴けた訪問になりました。

(2012年1月取材 理事・広報委員：金子晃)

かわごえ環境ネットの活動報告

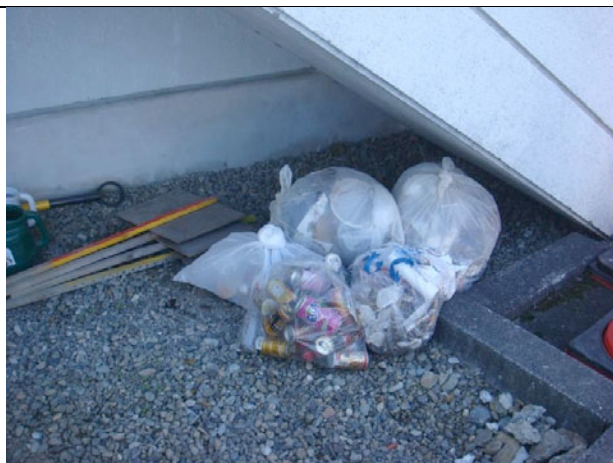
新河岸川の歳末清掃活動（12月25日）



濯紫公園前の新河岸川で

まち美化グループでは、新年を控えた12月23日に市内中心部のクリーン活動を行い、25日には新河岸川の市街地側を清掃しました。菓子屋横丁に近い赤間川公園横から氷川神社裏の北公民館までの間のごみ拾いをしました。

胸までの「つなぎ」を着た2人が川の中のごみを拾い、残りが遊歩道や道路のごみ拾いと分かれて行いました。シルバー人材で定期的に遊



集めたごみは北公民館に

歩道などのごみ拾いをしているので、きれいだと思いますが、やはり多くのごみが集まりました。

水辺再生工事で賑わいの創出を期待したのですが、効果のほどは上がっていないようです。菓子屋横丁から遊歩道への案内が、観光パンフレットなどにもありませんでした。（武田侃蔵）

成人式会場クリーン活動（1月9日）



集めたごみを囲んで

若い世代の喫煙率は年々下がっていますが、成人式会場周辺での吸殻のポイ捨てはまだまだなくなりません。社会環境部会のまち美化グル

ープで、恒例の成人式会場クリーン活動を行いました。「成人式おめでとう！歩きタバコ・ポイ捨てなくしましょう」のゼッケンをつけて、式場前の広場から周辺道路のポイ捨てごみを拾いました。式場前の広場に、スタンド式の灰皿を12個配置し、吸殻をポイ捨てしないように啓発しました。しかし、灰皿まで行くのも面倒と、ポイ捨てする者があとを絶ちません。

来年からは、公共施設内での禁煙方針を厳しく適用したいとの意見もあるようですが、元気な成人たちの敷地内での禁煙指導はたいへんだらうと予想されます。

（武田侃蔵）

会員からの報告

「里地里山法」のその後

里地里山法の担当である横田課長補佐を年末に関東地方環境事務所に訪ねて、「法律の概要や実践している自治体」について尋ねましたので、その概要をお知らせします。

おとしし12月に「地域における多様な主体の連携による生物の多様性の保全のための活動の促進等に関する法律」という長い名前の法律が制定されました。この法律は、“荒廃する里山を守るために、NPOが提起して、多様な主体が豊かな生物の多様性を守る活動を連携して進め、地域の自然や文化を活かして、多様な主体が有機的に連携して行う「保全活動」により、地域の多様性の保全が促進される”ことを期待されています。

法律は今年11月に施行されましたが、施行にあたって「活動の促進に関する基本方針」が決められ、公表されました。この基本方針によって、各自治体は“地域連携保全活動計画”を作成することになりますが、NPOが中心になって

作成し、自治体と共同で提出することも可能です。

関東地方では、神奈川県秦野市が作成し始めています。環境省は、計画作成の助成金を支出し、自治体の作成を後押ししています（金額は100万円単位）。また、「生物多様性保全地域戦略」の作成にも同様の補助金があり、活用次第では財政負担を軽減することができます。

担当者は「法律や自治体の取組みについての勉強会には、講師の派遣は行っています。謝礼は無料ですが、旅費の負担はお願いするかもしれません。また、できたての法律で、実践している自治体が少ないので詳しい話は難しいのですが、一緒に勉強することはできます。資料は環境省のホームページ^注で検索することができますので活用してほしい」とのことでした。

（個人会員 過昌司）

編者注：環境省自然環境局：里地里山の保全・活用
<http://www.env.go.jp/nature/satoyama/top.html>
 （2012年2月2日閲覧）

“農”景観へのルネッサンス — 「農」と里山シンポジウム報告 —

三芳町の淑徳大学のマスプロ教室で300名以上を集めて、三富アライアンスと農業振興協議会が主催した“三富（さんとめ）を未来に”と題してシンポジウムが1月28日に行われました。

基調講演は、進士（しんじ）東農大名誉教授、「農あってこそその都市社会」と題して講演をしました。分業と効率、そして不要物を排出する工学的な発想に対して、全体的なバランスを重視し、協同作業の必要な農学的な発想への転換を提案しました。

農業は日本各地で独自の発展をし、人間の衣食住に関わり、多くの知恵を蓄積して文化までにしてきました。しかし、効率化のために農業は画一化されて、多様性が失われてきています。

従来、農業は環境を作り変えながら、地域の環境を守ってきました。担い手の農民（百姓）

は人口の1割まで減少しており、この農を守る活動のためには都市住民の役割が期待されています。ボランティアで農家を助けている意識でなく、自然の中で活動することで人間性を回復している視点を持つことが必要で、この活動を促進させるのが「里地里山法」です。

三富では、畑と林がモザイク状になっており、環境の多様性があり、生き物の多様性が守られています。この故郷の風景を守るためには、三富の景観を大切にすることが必要です。

パネル討論で三芳町長は「三富では50年間に平地林が30%になってしまった。農と平地林を結び付ける研究所を作りたい」と表明していました。

川越からの一参加者の感想

進士五十八先生の講演はたいへん学ぶところ

が多かったです。

現代社会で一番すばらしい生き方は「農的暮らし」「完全循環型生活を営み原発に頼らない生き方を」「自然を再生し、人間を再生する」地域で行っている里山の保全活動もその一端を担っているのだ、ということを確認できました。地域の活動の中で抱えている問題点を交流し、

解決の糸口をつかむ議論の場があると、なおよかったですと感じました。

300人を超す参加者で運営は難しいとは思いますが、会場との交流、参加者の疑問にどう答えるか課題が残りました。

(個人会員 過昌司)

天然ガス発電所見学の見学報告



発電所の前で

1月26日天然ガス発電所を見学してきました。「原発のない社会をめざす鶴ヶ島市民の会」の呼びかけに参加し、川崎市の臨海部扇町に立地する、川崎天然ガス発電(株)川崎天然ガス発電所に行きました。JX日鉱日石エネルギー(株)と東京ガス(株)の出資により、2008年から運転を開始し1、2号機合計423,700kWの発電能力を持っているそうです。燃料は天然ガスを使用し、低NO_x型燃焼器を搭載した1400℃級ガスター

ビン・蒸気タービンを採用して、最高効率57.6%を実現。排出CO₂を低減し、排熱回収ボイラーには排煙脱硝装置を組み込み、冷却塔には白煙抑制対策のため乾湿併用式を採用することで、環境負荷に配慮しているとの説明でした。

全て特定規模電気事業者である出資2社に売電し、企業・一般需要家へ供給しています。稼働は従来8時～22時でしたが、東日本大震災以後24時間体制になったそうです。建設費は公表していませんが、参考は10万円/1kW(東京都試算)とのこと。2年で小定期修理、4年で大規模定期修理のサイクル、耐用年数は30年位を想定していますが実績がないので確証はないようです。冷却に工業用水を使用するので大気中のチリと合わせ、トラック1車分/2週間の汚泥処理をするそうです。

周辺にはJR東日本・東京電力の発電所、住友林業系のバイオマス発電所、太陽光発電・風力発電施設もありました。(菅野仲夫)

近隣市町・流域の話題

西埼玉温暖化対策ネットワークが環境省登録の地球温暖化対策地域協議会に

川越市・所沢市・狭山市・入間市・ふじみ野市・富士見市・坂戸市・鶴ヶ島市・日高市・飯能市・毛呂山町・三芳町の10市2町の環境関係団体などで作る西埼玉温暖化対策ネットワーク(略称西温ネット)は、かねてから環境省に申

請していた地球温暖化対策地域協議会登録が平成23年12月21日に認められました。各市の環境活動の連携を強化し、西埼玉地域の広域的な環境改善に寄与するものと期待されています。

(武田侃蔵)

埼玉県主催の「川の再生交流会～みんなでつくろう川の国埼玉～」2月4日(土)に開催

さいたま市民会館うらわで2月4日、10時から16時まで、県土整備部水辺再生課主催で開か

れます。午前中は表彰式などで、午後は6分科会に分かれて環境活動についての討議が行われます。

詳細は埼玉県ホームページ (<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/kawanosaisei/kouryukai2011.html>) に掲載されています。

第16回荒川流域再生シンポジウム「天然アユを活かした川の再生と地域おこし」

2月19日(日)13時30分~17時、国立女性教育会館大会議室。講演と討論会。連絡は鈴木勝行さんへ。電話 049-285-6625 携帯 090-7804-

5722 Email k_suzuki@pk2.so-net.ne.jp です。詳細はEIC ネット『エコナビ』(<http://econavi.eic.or.jp/event/detail/id/27547>) に掲載されています。

理事会・専門委員会からの報告

理事会

2011年度第10回理事会が、1月27日(金)9:00-11:00に川越市役所修養室にて開催されました。主な議事は次のとおりです。

会費納付状況を確認しました。今年度未納の方に引き続き納付を働きかけることにしました。なお、現在の会員163(個人99、民間団体32、事業者31、行政1)のうち個人18、民間団体3、事業者2が未納となっています。

市制施行90周年記念として実施する6月の環境月間の市内巡回啓発事業について、補助金交付が受理されました。2月中に開催地ごとに実

行委員会の準備会を実施すべく準備をしています。

2月25日に開催されるかわごえ環境フォーラムの準備状況を確認しました。協賛金が予算より少なくなったため、表紙は白黒で印刷することにしました。

各部に次年度事業計画の具体化を依頼しました。また、次回理事会において役員改選の方法について検討することにしました。

(理事長 小瀬博之)

社会環境部会

1月の例会は、13日(金)7C会議室にて、13名の出席者で実施しました。

年頭に当たり、出席の皆さんから抱負を述べて頂きました。川越市市制施行90周年記念事業計画における6月環境月間の積極的な推進や、まち美化などイベントへの参加、健康増進などについて意欲的な話し合いができました。

この1か月のイベント(歳末まち美化、新河岸川清掃、資源循環推進課との打ち合わせ、月刊かわごえ環境ネットの印刷・発行、成人式での清掃活動など)に参加し得るものが多かったと思います。これからも積極的な参加をお願いします。

2月25日(土)かわごえ環境フォーラムの午

後に行われる討論会には、各人が興味ある分科会に参加し、積極的な討論をお願いしました。

2012年度の事業計画は、例年行っている3項目のテーマおよび講演会、施設めぐりに加え、川越市市制施行90周年記念事業を成功させることを最重要課題としました。また、埼玉県水辺関連の活動を新しいテーマとしました。

先般、アンケートをとった可燃ごみ削減については、生ごみの水切りだけでなく効果が大きい生ごみの乾燥を推進することにしました。

このほか社会環境部会としては、住みよい川越の環境活動に取り組んでいきたいと思っています。

(社会環境部会代表 原嶋昇治)

自然環境部会

2012年1月の例会は、13日（金）に市役所7C会議室において出席者9名で行われました。主な議事は以下の通りです。

1.環境フォーラム実行委員会の報告

発表方法がポスターセッションからパワーポイント等へ変更になった。活動報告は11件と部会報告2件。午後は3分科会で問題提起とディスカッション。

2.生物多様性保全に関する資料提供

川越においても取り組みを始めるための法律・条令などの背景や、他市の取り組み例など

の紹介。川越の現状などの意見交換。

3.「(仮称)川越市森林公園」計画地での保全活動報告

12/12、12/26、1/9の定例活動報告。1/9は巣箱の利用調査で10個の巣箱を下ろして中を調べたところ7個に巣材が運ばれていた。藪状照葉樹林帯の手入れは順調に進んでいる。

4.会員からのイベント等の紹介

「住民主体のまちづくりを目指して」1/21（みなみかぜ）、「西武の森」パンフによる紹介
(自然環境部会 賀登環)

かわごえ環境フォーラム実行委員会

第6回実行委員会を1月12日（木）14:30～16:30に開催し、午後のワークショップ「環境活動の活性化」についてのプログラムをおおよそ決定しました。また、第7回実行委員会を1月27日（金）11:00～12:20に開催し、全体の進行状況の確認を行いました。

協賛企業及び広告原稿の入稿状況等を確認しました。また、プログラムとスケジュールを確認しました。前日15:00～16:30に川越西文化会館（メルト）第1会議室で準備、当日は8:45集合、9:00受付開始としました。あわせて当日のキャスティングを決定しました。

午前の環境活動報告会は、会場の使用方法の制限から、発表方法がポスターセッションより会議室におけるスライド等を用いた口頭発表に変更となり、この変更を各発表者に通知することにしました。また、追加で1件の発表を行うことになり、11件の発表となりました。発表方

法は変更されたものの、展示ホールのポスターはできるだけ作成するようあわせて依頼することにしました。

午後のワークショップは、2名の話題提供者に対する打ち合わせ担当者を決定しました。また、当日の段取りを確認しました。机なしのいすで会場を作り、グループワークでテーブルを囲む形でいすを移動させるようにしますが、参加人数が把握できないので当日臨機応変に対応することにしました。また、ワークショップでは、模造紙を用いて要点をまとめるなどして、集合後のまとめの際にスムーズに内容を報告できるようにしました。

ワークショップに際して会員へアンケートを実施することになりました。内容について調整しました。今号の郵送資料に要旨を同封しますので、会員の方は回答にご協力ください。

(実行委員長 小瀬博之)

川越の自然編集委員会

「川越の自然」冊子は在庫が少なくなってきたので、2月のかわごえ環境フォーラムでの頒布をもって、一般への頒布は終了します。また、直接購入が可能であった「生活クラブ生協 くらぶルーム川越」での頒布も2月末をもって終

了します。次年度からは、本会主催の観察会等で継続してなくなるまで頒布していきます。まだお持ちでない方はお早めにお求めください。

(委員長 横山三枝子)

おしらせ

2月25日に「第10回かわごえ環境フォーラム」を川越西文化会館（メルト）で開催

川越市制施行90周年記念
第10回かわごえ環境フォーラム
環境活動の活性化



2012年2月25日(土) 9:45-16:30

川越西文化会館(メルト) 入場無料
(東武東上線霞ヶ関駅北口から徒歩12分)

10:00-12:00 市民・民間団体・学校等の環境活動報告会
13:00-16:30 ワークショップ「環境活動の活性化」



今回10回目の記念大会です
かわごえ環境フォーラムは



○主催 かわごえ環境ネット ○後援 川越市
○協賛 バイオニア株式会社 トーヨーケム株式会社 初雁興業株式会社
武州ガス株式会社 株式会社環境総合研究所

○問い合わせ かわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課環境推進担当)
Tel.049-224-5866, E-mail: 10thforum@kawagoekankyo.net (専用アドレス)
○かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net>



午前の部は、「市民・民間団体・学校等の環境活動報告会」で、本会専門委員会を含め、11件の活動報告があります。多彩な活動報告をぜひお聞きください。

午後の部は、ワークショップ「環境活動の活性化」を実施します。生活環境、自然環境、社会環境(会員アンケート結果)の3つの話題提供をもとに参加者がグループに分かれて、テーマにそって課題の整理や今後の方策について話し合いを進め、最後に全体会でまとめます。

参加された方が今後の環境活動についての何かしらのヒントを得る行事にしたいと考えています。環境問題や活動に関心のある方、ぜひご参加ください。具体的な内容はちらしをご覧ください。インターネットでも入手できます。

2.会員へのアンケート実施(2月15日締切)

上記ワークショップ開催に先立って、会員へのアンケートを実施することになりました。2月の郵送資料において、本誌に同封されているアンケート用紙に必要事項をご記入の上、かわごえ環境ネット事務局へ2月15日(水)までに到着するようご提出ください。

1.開催当日の流れ

川越市制施行90周年記念「第10回かわごえ環境フォーラム」を2月25日(土)9:45-16:30に川越西文化会館(メルト)で開催します。

【再掲】「エコライフ DAY 埼玉 2011 冬のキャンペーン」ご協力をお願い

エコライフ DAY(デイ)には、「簡単なチェックシートを利用して、広く県民の皆様にごエコライフを経験していただくものです。チェックシートを見ながら1日、省エネ・省資源など環境に配慮した生活をしてみてください。あなたが削減できた二酸化炭素量が計算できます。」と書いてあります。

毎年、夏冬の2回行っています。冬のキャンペーンは、12月1日から3月20日(春分の日)まで行います。会員の方には、1月号郵送資料

にチェックシートを送付しましたので、ぜひ参加ください。家族の方の記入欄もあります。また、埼玉県「エコライフ DAY」のホームページからも参加できます。

記入したチェックシートは、社会環境部会の例会(第2金曜日13時より)または、事務局に持参していただければ幸いです。

なお、これまでのチェックシート集計結果は、かわごえ環境フォーラム「環境活動報告集」を参照ください。

かわごえ環境ネット主催行事一覧（記号の凡例はイベントカレンダーをご参照ください）

★（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査・保全活動

日時：2月27日・3月12日・26日（月）
9:30-12:30

場所：川越南文化会館（ジョイフル）
（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（049-234-9366）

毎月第2月曜日（2月は未実施）は植物調査、第4月曜日は西側公有地の常緑広葉樹林遷移防止のための手入れ保全活動。いずれも南文化会館（ジョイフル）9:30集合。事前連絡はいりません。

●広報委員会（2012年2月度）

日時：2月7日（火）12:00-13:00

場所：川越市役所本庁舎5階フリースペース
（川越市元町 1-3-1）

●社会環境部会（2012年2月度）

日時：2月10日（金）13:00-15:00

場所：川越市役所地階修養室

●自然環境部会（2012年2月度）

日時：2月10日（金）15:00-17:00

場所：川越市役所地階修養室

両部会は、毎月第2金曜日の13:00-15:00、15:00-17:00の連続開催です。次回は3月9日（会場は川越市役所7C会議室）です。会員であれば自由に出席できる話し合いにご参加ください。

◆かわごえ環境フォーラム実行委員会（第8回）

日時：2月24日（金）15:00-16:30

場所：川越西文化会館（メルト）
（川越市鯨井 1556-1）

★川越市制施行90周年記念

第10回かわごえ環境フォーラム

日時：2月25日（土）9:45-16:30（9:00-受付）

場所：川越西文化会館（メルト）

午前は会員と本会の環境活動報告会、午後はワークショップ「環境活動の活性化」

◆理事会（2011年度第11回）

日時：2月28日（火）9:00-10:30

場所：川越市役所地階修養室

会員・関係団体の主催行事

●福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

☞おいしく・楽しく農業体験

◆2月11・18日（土）10:00からの作業

雑木林の手入れ（参加者は熟成した腐葉土のおみやげつき）

集合：明見院（川越市今福 677）

クラブ会費：1家族1,000円（保険代・備品代等）、クラブ員でない参加者は1人100円（保険代）とします。

福原ファームクラブ活動予定表

月	日	活動内容（先の内容はこれまでの例）
2	11・18	雑木林手入れ
3	10・17	雑木林手入れ 焼き芋・スープ・あそぼうパン

●特定非営利活動法人

武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118）

☞森林公園かんさつ会

◆2月8日（水）・19日（日）当会主催

国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所に10:20集合。15:00過ぎ終了解散。参加費200円、入園料要、お弁当持参。雨天決行。

2月は、ルリビタキやカモ類などの野鳥や冬越しの昆虫やクモを観察します。ぜひお出かけください。

◆3月11日（日）公園主催、当会協力

国営武蔵丘陵森林公園南口から入園10:20集合、15:30過ぎ解散

◆3月28日（水）当会主催

当会主催：国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所10:20集合。15:00過ぎ終了解散。参加費200円、入園料要、お弁当持参。雨天決行。

水辺の生き物を観察します。アマナやアオイ

スマレの花も見ごろです。植物の解説は小田先生です。

●みなみかぜ いきいきたんぼの会

(川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会)

問い合わせ：みなみかぜ 後藤・田崎

(Tel.049-234-1200)

場所：みなみかぜ (川越市吉田 204-2)

たんぼ活動ブログ <http://blogs.dion.ne.jp/tanbo373>

※活動には、誰でも参加できます。参加費はお問い合わせください。イベント単発の活動参加もできます。

※生きもの調査、一緒に活動しませんか？ たんぼまわりの動植物に興味がある個人およびグループの募集をしています。

※活動は、日時内容の変更をすることがあります。決定スケジュールは、別途発行の「月の予定」をご覧ください。

◆2月3・(10)・17・24日(金) 10:00-11:30
作業日

◆2月10日(金) 10:00-12:00※調整中

たんぼ勉強会「たんぼの生きもの調査、生物多様性について」

(講師:生きものインストラクター)

◆2月11日(土)・3月10日(土) 10:00-11:30
例会

◆3月2・9・16・23・30日(金) 10:00-12:00
作業日

●クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：武田侃蔵

(Tel.090-2521-5770, Fax.049-222-0786)

☞「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・放置自転車」のゼッケンをつけて、まち美化啓発運動

1. 第1火曜日・第3木曜日(13:30-15:00)

◆2月7日(火)・16日(木)

◆3月6日(火)・15日(木)

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

2. 第2日曜日(9:30-11:00)

◆2月12日(日)・3月11日(日)

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

3. 第4土曜日(13:30-15:00)

◆3月24日(土)[2月25日(土)は環境フォーラム開催で休み]

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

☞「水と緑と安心を！サイクリングで探訪」第7回

◆2月18日(土) 9:00-15:00

1月は雨と雪のため中止しました。順延して行います。旭町の川越市立高校正門前9時集合。久保川から不老川合流点に行き、不老川を遡って狭山市内まで。不老川浄化市民団体と交流。赤坂や松原の雑木林、森林公園予定地などを廻り、高階市民センターで15時解散。

☞新河岸川一斉清掃

◆3月25日(日) 9:30-11:30

新河岸川広域景観プロジェクトの各市の環境団体で、新河岸川の一斉清掃を実施します。新扇橋から養老橋までの川越市部分を担当します。地元の自治会などとも連携して行います。参加できる方は、武田(090-2521-5770)までご連絡ください。

●(財)埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一(Tel.049-222-0957)、当日の携帯電話連絡(Tel.080-6584-3010)

☞伊佐沼探鳥会 毎月第2日曜日

時間：10:00集合-12:00(小雨決行)

集合：伊佐沼の西側にある東後楽会館入口近くの蓮見橋、解散は同じ場所で正午ごろ。

持ち物：筆記用具、あれば双眼鏡

参加費：300円、高校生以下100円

(保険料・資料代として)

◆2月12日(日)

全面氷結した沼にカモはいます。氷の上で足を滑らしながら歩きます。パンダと顔の模様が良く似ているカモ、ミコアイサが例年飛来してきます。伊佐沼公園の林は、木の葉が落ちて小鳥を探しやすくなっています。ツグミ、ジョウビタタキ、コゲラに会えます。

◆3月11日(日)

3年にわたる改修工事も今月で終わる予定で

したが、壁面の植栽や排水ポンプ工事などでも1年工期が延びました。最後の仕上げに注目しましょう。昨年は、11月から12月にかけて貴重な鳥、クロツラヘラサギが飛来しました。

自然が豊かになれば今年も珍鳥に会えるかもしれません。今月は冬鳥に別れる季節です。秋の再会を期待して見送しましょう。

広報委員会からのお知らせ

●インターネットで本誌がカラーで見られます

本会ホームページでは、バックナンバーを含めてカラーで本誌が見られます。団体会員のみなさまは、URLをお知らせするだけで会員への周知が可能でとても便利。ぜひご活用ください。

<http://kawagoekankyo.net/news>

●本誌もインターネットも参加型、ぜひご投稿ください

本会会員をはじめとして、川越における環境活動報告や主張などの記事をぜひお寄せください。写真の掲載も可能です。また、本会会員や関連団体等がこれから実施する公開イベント等の情報の掲載等も受け付けています。

2012年3月号(No.065, 2月下旬~3月上旬発行予定)の掲載原稿は、2月14日(火)必着です。編集担当の小瀬・武田・事務局のいずれでも承ります。電子データでいただけると助かります。不明な点はお問い合わせください。

また、インターネットのブログも会員ブログとして随時書き込み可能です。書き込みには、ユーザー登録が必要です。詳しくは会員ブログをご覧ください。

<http://kawagoekankyo.net/blog>

●Twitterでかわごえ環境ネットをフォロー

かわごえ環境ネット Twitter (@kawagoekankyo) は、ブログの更新と連動してツイートします。Twitterに登録してぜひフォローしてください。

●「かわごえ環境ネット」入会のおすすめ

私たちは、かわごえの環境をよくするために行政をはじめとするさまざまな団体と協働して活動を行っています。かわごえ環境ネットの仲間になりませんか。

個人会員は年会費1,000円、5名以上の団体・事業者は、年会費2,000円ですが、3月までに入

会された方は、今年度の会費は免除され、4月の新年度からの請求となります。

会員になることで、本誌の送付などのサービスが受けられます。また、さまざまな環境活動に参加することができ、社会での活動の場が広がります。

特に会社を退職された方や子育てを終えて、社会活動を行いたいと考えている方、やりがいのある事業がたくさんあります。入会についての詳細は、かわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課環境推進担当、川越市役所本庁舎5階、Tel.049-224-5866)へ問い合わせ、またはかわごえ環境ネットホームページ(<http://kawagoekankyo.net>)をご覧ください。

●編集後記

◆寒い日が続きますが、日は少しずつ長くなっていて、いつの間にか植物も動物も春の準備を進めていることが目でも耳でも感じ取れます(ネコは少しうるさいですが)。空気が寒くても日差しは春めいている感じがします。2月4日から暦の上では春。春が徐々に感じられるようになる2月25日(土)に川越西文化会館(メルト)で第10回かわごえ環境フォーラムが開催されます。ぜひご参加ください。(こせ)

◆あと1ヶ月で東日本大震災から1年になります。原発事故の影響は深刻さを深めています。夏の節電対策は早めに取り掛からねばなりません。学校や公民館のグリーンカーテン計画も、今から地元市民と協力する体制をつくりたいものです。クールスポットの発見など、自然に目を向ける良いチャンスかもしれません。このような環境意識の向上で、6月の「環境月間」の巡回啓発行事が、地元との協力でスムーズにすすめられるものと期待しております。(KT)

イベントカレンダー (2月1日~3月31日)

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他 詳細は個別の記事をご覧ください			2/1	2/2	2/3 ◎10:00 みな みかぜ作業日	2/4 ◎10:00 川の 再生交流会
2/5 ◎13:30 講演 会「子育ては キッチンか ら」高階公民 館	2/6	2/7 ◆12:00 広報 委員会 ◎13:30 まち 美化啓発運動	2/8 ◎10:20 武蔵丘 陵森林公園か んさつ会	2/9	2/10 ◎10:00 田んぼ 勉強会(調整中) ●13:00 社会 環境部会 ●15:00 自然 環境部会	2/11 建国記念の日 ◎10:00 おいしく 楽しく農業体験 ◎10:00 みな みかぜ例会
2/12 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00 伊佐 沼探鳥会	2/13 ◆9:30 (仮称) 川越市森林公園 計画地 話し合い (非公開)	2/14 ○本誌3月号 原稿提出締切	2/15	2/16 ◎13:30 まち 美化啓発運動	2/17 ◎10:00 みな みかぜ作業日	2/18 ◎9:00 サイク リング探訪 ◎10:00 おいしく 楽しく農業体験
2/19 ◎10:20 武蔵丘 陵森林公園か んさつ会 ◎13:30 荒川 流域再生シン ポジウム	2/20	2/21	2/22	2/23	2/24 ◎10:00 みな みかぜ作業日 ◆15:00 フォー ラム実行委員会	2/25 ★9:45 第10回 かわごえ環境 フォーラム
2/26	2/27 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園 計画地 保全活動	2/28 ◆9:00 理事会	2/29	3/1	3/2 ◎10:00 みな みかぜ作業日	3/3
3/4	3/5	3/6 ◎13:30 まち 美化啓発運動	3/7	3/8	3/9 ◎10:00 みな みかぜ作業日 ●13:00 社会 環境部会 ●15:00 自然 環境部会	3/10 ◎10:00 おいしく 楽しく農業体験 ◎10:00 みな みかぜ例会
3/11 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00 伊佐 沼探鳥会 ◎10:20 武蔵丘 陵森林公園か んさつ会	3/12 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園 計画地 植物調査	3/13	3/14 ○本誌4月号 原稿提出締切	3/15 ◎13:30 まち 美化啓発運動	3/16 ◎10:00 みな みかぜ作業日	3/17 ◎10:00 おいしく 楽しく農業体験
3/18	3/19	3/20 春分の日	3/21	3/22	3/23 ◎10:00 みな みかぜ作業日	3/24 ◎13:30 まち 美化啓発運動
3/25 ◎9:30 新河岸 川一斉清掃	3/26 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園 計画地 保全活動	3/27	3/28 ◎10:20 武蔵丘 陵森林公園か んさつ会	3/29	3/30 ◆9:00 拡大企 画会議 ◎10:00 みな みかぜ作業日 ◆10:30 理事会	3/31

月刊 かわごえ環境ネット 2012年2月号 No.064

発行日 2012年2月2日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net/>